

# TECHNICAL DATA

種 類	速硬系高接着下地調整材 エポキシ系ポリマーセメントモルタル
商 品 名	ハイパーエポ

改訂版数：	第4版
-------	-----

DATE： 2023. 4. 1



菊水化学工業株式会社

# 標準施工仕様書

- 種類：速硬系高接着下地調整材 エポキシ系ポリマーセメントモルタル
- 商品名：ハイパーエポ
- 用途：特殊下地面への接着バインダー、ウレタン等の防水材の膨れ防止用下地調整  
高接着性を必要とする面への下地調整、耐震補強工事における繊維(カーボン、アラミド)貼り面の接着バインダー及び保護モルタル
- 適用下地：コンクリート・PCパネル・エポキシ・鉄板・床材・塗料等
- 部位：内外部壁床面
- 工程

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間 (20℃)	所要量
下地調整	ハイパーエポ 粉体： 17 kg 主剤： 2.5 kg 硬化剤： 2.5 kg	金ごて	1	5以上	約5.13kg/m <sup>2</sup> (約3mm厚) 約4.28m <sup>2</sup> (約3mm厚) 混練比重：約1.71kg/L 練り上り容量：約12.9L

## ● 施工上の要点

- (1) 下地の状況を診断・確認し、劣化箇所は全てハツリ取って下さい。異種下地については、接着が可能かどうか確認して下さい。
- (2) 接着を阻害するホコリ等の残着物を除去・清掃して下さい。
- (3) 下地面の凹部の補修が必要な場合は、下塗りを行って下さい。尚、補修の厚みに応じて珪砂（5～6号程度）を適量加えて下さい。その際、粉体を1kg減らして下さい。（10mm程度まで）

### <下塗り配合>

主剤	硬化剤	粉体	珪砂（5～6号）
2.5kg	2.5kg	16kg	3～8kg

- (4) 最初に主剤・硬化剤をペール缶に採り軽く攪拌した後、粉体を投入して下さい。その後、高速ハンドミキサー（1000回転以上）で十分に混練りして下さい。
- (5) 混練りした材料は、コテで凹部が埋まるように塗り付け、1～3時間程度養生して下さい。
- (6) 上塗りも最初に主剤・硬化剤をペール缶に採り軽く攪拌した後、粉体を投入して下さい。その後、高速ハンドミキサー（1000回転以上）で十分に混練りして下さい。
- (7) 混練りした材料はコテで所定の厚みに塗り付け、直ちに表面を平滑にして下さい。
- (8) 塗り付け材料が硬化するまで養生して下さい。（5時間以上、翌日までが好ましい）
- (9) ハイパーエポは可使時間が非常に短いのでご注意下さい。（30分以内）
- (10) 材料の練り戻し、練り足しは絶対にやめて下さい。
- (11) 混練り時に、主剤・硬化剤・粉体・珪砂以外の異種物質は混入しないで下さい。
- (12) 下地の吸水が激しい場合は、適量の水打ちを行って下さい。

● 注意事項

- (1) 気温が5℃以下の場合は施工を避けて下さい。
- (2) 強風及び降雨、降雪の場合又はそれらが予想される場合は施工を避けて下さい。
- (3) 湿気や水掛かりに注意して保管して下さい。

● 備考

鉄部の錆止め効果を付与する場合は、別途錆止め工程が必要となります。予め、防錆材（防錆塗料など）で処理して下さい。

# 組 成 表

種 類 速硬系高接着下地調整材 エポキシ系ポリマーセメントモルタル

商 品 名 ハイパーエポ

荷 姿 ハイパーエポ

粉 体 NET 17kg/ビニール袋入  
主 剤 NET 2.5kg/水マクラ入  
硬化剤 NET 2.5kg/水マクラ入

## 組 成

### ●ハイパーエポ (粉体)

内 容	重 量 (%)
ポルトランドセメント	45 ~ 55
骨材 (シリカ、タンカル等)	43 ~ 56
再乳化形粉末樹脂 (アクリル系)	1 ~ 2
その他添加剤	1 ~ 2
計	100

### ●ハイパーエポ (主剤)

内 容	重 量 (%)
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	35 ~ 45
その他	5 ~ 10
水	50 ~ 55
計	100

### ●ハイパーエポ (硬化剤)

内 容	重 量 (%)
変性脂肪族ポリアミン	15 ~ 20
水	80 ~ 85
計	100

# 性能試験成績書

## ①ポットライフ（可使時間）

	冬用	標準用	夏用
10℃	約60分	約60分	—
20℃	約20分	約40分	約60分
30℃	—	約15分	約30分

## ②接着力強度の推移（コンクリート下地）

材令	接着力強度 (N/mm <sup>2</sup> )	破断状況 (%)
12時間	1.99	材料凝集：100
1日	2.54	下地凝集：100
7日	2.61	下地凝集：100
28日	3.05	下地凝集：100

\*下地：コンクリート平板（乾燥）

\*塗厚：1mm

\*養生：標準養生（20±2℃、65±10%RH）

\*建研式接着力試験機を使用

## ③各種接着力強度

下地材		材令	接着力強度 (N/mm <sup>2</sup> )	破断状況 (%)
コンクリート	乾燥面	7日	2.61	下地板凝集：100
	湿潤面	7日	2.34	下地板凝集：100
	若材齢	7日	2.08	下地板凝集：100
エポキシ床材		7日	2.47	下地板凝集：100
ゴムアスファルト		7日	0.69	ゴムアス凝集：100
FRP（表面研磨）		7日	2.46	下地板凝集：100
カラーコンクリート		7日	2.51	下地板凝集：100
鉄板		7日	3.00	材料凝集：100

\*塗厚：1mm

\*養生：標準養生（20±2℃、65±10%RH）

\*建研式接着力試験機を使用

#### ④ 曲げ・圧縮強度

材 令	曲げ強度 (N/mm <sup>2</sup> )	圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )
1 日	3. 2 2	1 4. 7
7 日	5. 0 4	3 0. 1
2 8 日	5. 2 1	3 2. 2

\*養生：標準養生（20±2℃、65±10%RH）

\*AUTGRAPHを使用

#### ⑤ JIS A 6916に基づく性能

項 目		単 位	試験結果	規 格 (C-2)
練り上がり容積重量		kg/L	1. 7 1	—
耐ひび割れ性		—	ひび割れなし	ひび割れないこと
耐衝撃性		—	ひび割れ及びはがれ なし	ひび割れ及びはがれ がないこと
付着強 さ	標準養生	N/mm <sup>2</sup>	2. 6 5 (下地破断；100%)	1. 0 以上
	低温養生	N/mm <sup>2</sup>	2. 9 9 (下地破断；100%)	0. 7 以上
吸水量		g	0. 7 1	1 以下
耐久性	割れ・膨れ ・はがれ	—	割れ、膨れ及びはがれ なし	割れ、膨れ及びはがれ がないこと
	付着強さ	N/mm <sup>2</sup>	2. 3 4 (下地破断；100%)	1. 0 以上

\*養生：標準養生（20±2℃、65±10%RH）

\*付着強さ・耐久性：下地はモルタル成形板を使用

# 一般的な注意事項

## 《下地》

- 下地がコンクリート、モルタルの場合は、下地の乾燥を十分に行ない、含水率 10%以下、pH10 以下で施工してください。
- 大きな動きが予想される部位への塗装は、塗膜がひび割れまたは剥離する可能性があります。

## 《環境》

- 夏期など、特に気温が高い場合や下地の吸い込みが著しい場合はドライアウトの原因となります。適当な水湿し、または下塗りを行ってください。
- 塗膜の乾燥過程で水分の影響（高湿度、結露、降雨等）を受けた場合、塗膜表面が白化することがあります。施工場所の気温が5℃以下、湿度 85%以上又は結露の発生が考えられるなど水分の影響を受ける可能性がある場合は、施工を行わないでください。
- 外部施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。
- 絶えず結露が発生するような部位、場所への塗装はしないでください。
- 直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度上昇を防止してください。
- 施工時は換気を十分に行ってください。

## 《施工》

- 施工時は飛散防止として養生は十分に行ってください。
- 施工面とその周辺（車や付帯設備を含む）や床などに汚染や損傷を与えないように注意し、必要に応じて、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。
- 乾燥途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に水分が当たらないようにしてください。
- 各種施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工し、適正な塗付量を確保してください。
- 表面に白華が発生した場合はブラシ等により除去してから次工程の作業を行ってください。
- 施工箇所が高温である場合は、製品をできるだけ気温の低い所に保管し、あらかじめ冷却した水で練り混ぜてください。
- 使用後は塗装器具を十分に洗浄してください。
- 溶剤形の下塗を取り扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず施工面のマスキングを行ってください。

## 《保 管》

- 直射日光下や屋外、0℃以下での保管はしないでください。
- 製品は、湿気に注意し、水がかりを避け、パレットの上に置き、なるべく乾燥した屋内に保管してください。

## 安全衛生上の注意事項

- 製品の取扱いについての一般的な注意事項の詳細は SDS (安全データシート : 旧 MSDS) を参照してください。
- 取扱い後は手洗い、うがいを十分に行なってください。
- 適切な保護手袋、保護眼鏡、防毒・防塵マスクなどを着用してください。
- 目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- 皮膚についた場合は、多量の水と石鹼で洗ってください。また、皮膚刺激または発疹が生じた場合は、診断を受けてください。
- 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 火気、スパーク等の発火源があると、粉じん爆発の恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。
- 取扱い中は、粉じんがたたないように注意し、また、取扱い後は密閉した容器に保管してください。
- 缶の取手は手さげ専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあり危険です。絶対に行わないでください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- 塗料、塗装器具を洗浄した汚水はそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。

\* 本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。

施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照し、適切な対策を取るようになしてください。

以上